

2020 年 7 月 16 日

日本 NPO 学会 御中

認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

担当：小川知子

〒105-0004 東京都港区新橋 5-7-12 ひのき屋ビル 7 階

Tel：03-6809-2590 Email：c.ogawa@jfra.jp

後援名義等使用許可申請書

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より当協会をご支援頂き、厚く御礼申し上げます。

下記のとおり、事業を開催するに当たって、後援名義等を頂きたく、本申請書と関係書類を添えて申請いたします。

後援名義使用を許諾いただけます場合は、添付の許可書を **7 月 21 日(火)**までにメール添付にて frj@jfra.jp 宛にご返信いただけましたら幸いです。

ご不明な点などございましたら、何なりと担当小川までお知らせくださいませ。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- ・後援名義等使用許可申請書(本紙) 1 部
- ・「FRJ2020 企画書」 1 部
- ・収支予算書 1 部
- ・後援名義等使用許可承諾書 1 部

以上

FRJ2020

企画書

FRJ2020 Sept.5-12, 2020
@Event Hub

主催：日本ファンドレイジング協会

ファンドレイジング・日本 2020オンライン 開催概要

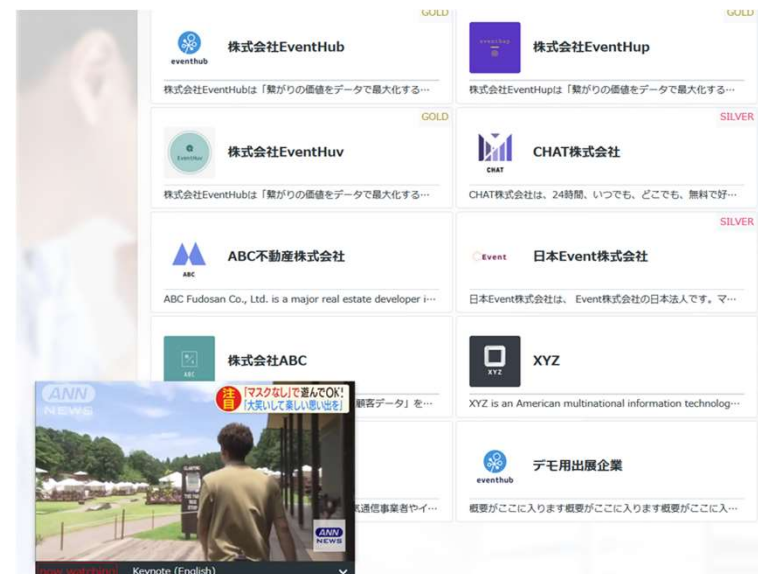
日程 2020年9月5日（土）-12日（土）※ 8日間

場所 Event Hub（オンライン）

参加人数 1,000～2,000名(予定)

内容 ライブセッション・オンデマンドセッション・ライブギャザリング
ネットワーキングなど77セッションを予定

協賛 チームGOEN、株式会社トラストバンク、株式会社ファンドレックス、リタワークス株式会社、
日本マイクロソフト株式会社、株式会社セールスフォース・ドットコム、
公益財団法人ベネッセこども基金ベネッセ子ども基金、一般財団法人社会変革推進財団ほか



FRJ2020オンライン大会では、以下の4つの様式で、セッションコンテンツの提供を行います。

①ライブ配信セッション	②オンデマンドセッション	③ダイアログセッション	④ギャザリングセッション
<ul style="list-style-type: none"> YouTube Videoなどによるリアルタイム配信 	<ul style="list-style-type: none"> 事前収録・撮影したものをEvent Hub上で配信 	<ul style="list-style-type: none"> Zoom他を使ったオンライン会議フォーマット 	<ul style="list-style-type: none"> Zoom他を使ったオンライン会議フォーマット
<ul style="list-style-type: none"> 従来のオープニング・ゼネラル・クロージングの立ち位置のもの ハウツーものというよりも、より探索的な内容かつ多様な視点の提供やチャレンジのハイライト Slidoやchatなどにより多少の参加者との往還はあり。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦略や体系化したハウツーなど、参加者の「明日役立つノウハウを学びたい」のニーズを満たすもの 	<ul style="list-style-type: none"> より参加者による相互のアウトプットにより、学びが促進される特徴のあるもの 明確な1つの答えの提示よりも、多様な意見・対話をメインにするもの 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者同士の交流により焦点化したもの 交流を促す目的で、学びの要素やディスカッショントピックを設けるのも可

- 本資料の巻末に記載している過去の大会参加者の傾向や、協会関係者へのヒアリング等結果を加味し、**インプットとアウトプットの機会、学びと交流の機会、具体的な学びと探索的な学び等**のバランスを加味し、上記4つの様式としました。
- 現状、①ライブ配信を7つ程度、②オンデマンドを15~20程度、③ダイアログセッション30程度（協賛含む）、④公認ギャザリングを20程度（ランチタイム含む）の77セッション関連コンテンツを期間中に想定しています。（変更の可能性有り）

ライブセッション 10セッションを予定 第3号議案資料2

9月5日(土)・6日(日)・12日(土)の3日間、ライブ配信でご参加頂くセッションです。

チャットなどを使って、質問をリアルタイムに受け付け、スピーカーと参加者と双方向で学びを深めます。



Penelope Cagney

全米 TOP6 ファンドレイザーとして評され、Global Fundraising の共著者でもある世界のファンドレイジングをよく知るファンドレイザーが登場！



奥田 知志

NPO 法人抱樸（旧北九州ホームレス支援機構）
理事長



安田 菜津紀

NPO 法人 Dialogue for People（ダイアログフォーピープル /D4P）
所属フォトジャーナリスト



本木 恵介

NPO 法人かものはしプロジェクト
共同創業者・理事長



平田 麻莉

一般社団法人プロフェッショナル & パラレルキャリア・フリーランス協会
代表理事



白井 智子

NPO 法人新公益連盟
代表理事

ダイアログ・双方向型セッション 30セッションを予定

9月6日(日)～12日(土)の開催期間中、「ファンドレイジングを成功に導くチームのつくり方」や「コロナにおけるファンドレイジングの成功事例」などの専門性の高いテーマでスピーカーから話題提供を頂き、スピーカーと参加者、そして、参加者同士の相互のアウトプットによって、学びを深めていくセッションです。問いの答えをともに考えます。



小島 瑞代（准認定ファンドレイザー）

認定 NPO 法人かものはしプロジェクト
広報・ファンドレイジングディレクター



長浜 洋二（准認定ファンドレイザー）

モジョコンサルティング合同会社
代表



イノウエ ヨシオ（認定講師）

株式会社ファンドレックス
COO

オンデマンドセッション

9月5日(土)～12日(土)の開催期間中、ビデオコンテンツでいつでも好きなときに学べるセッションです。

助成金の基本を学び、
団体に本当に
活用するための作法

戦略的
クラウドファンディング
活用講座

成果が変わる広報術！
メディア取材を呼び込む、
小さな工夫とは？

エビデンスをつかおう！
～現場実践に生きる
エビデンスの考え方入門

それは活動か成果か？
社会的インパクトを
生み出すマネジメント

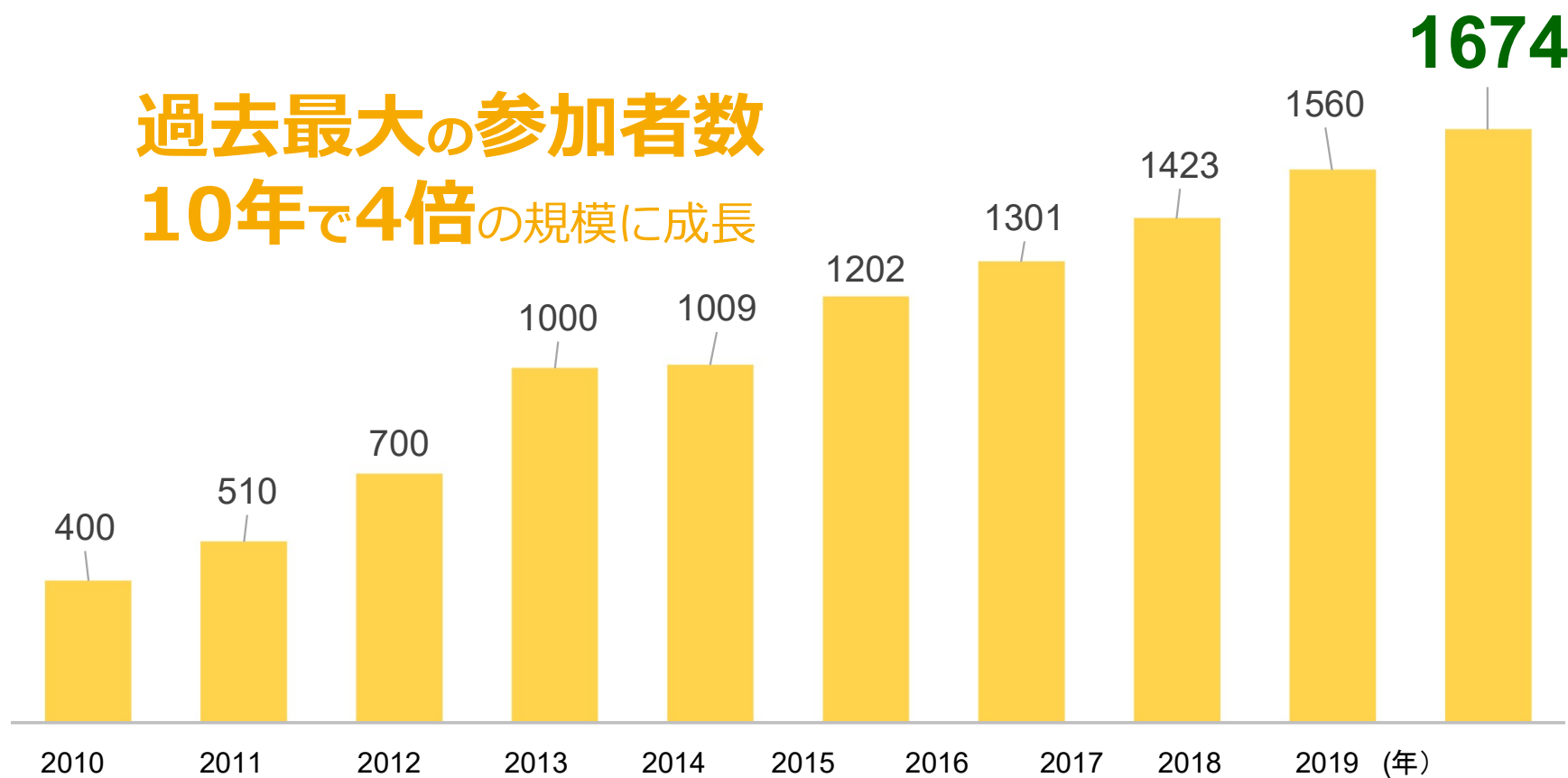
企業版ふるさと納税制度の
先進的な活用事例の
研究と活用方法

その他ギャザリングセッションなど 多数！

FRJ2019実績（参加者数）

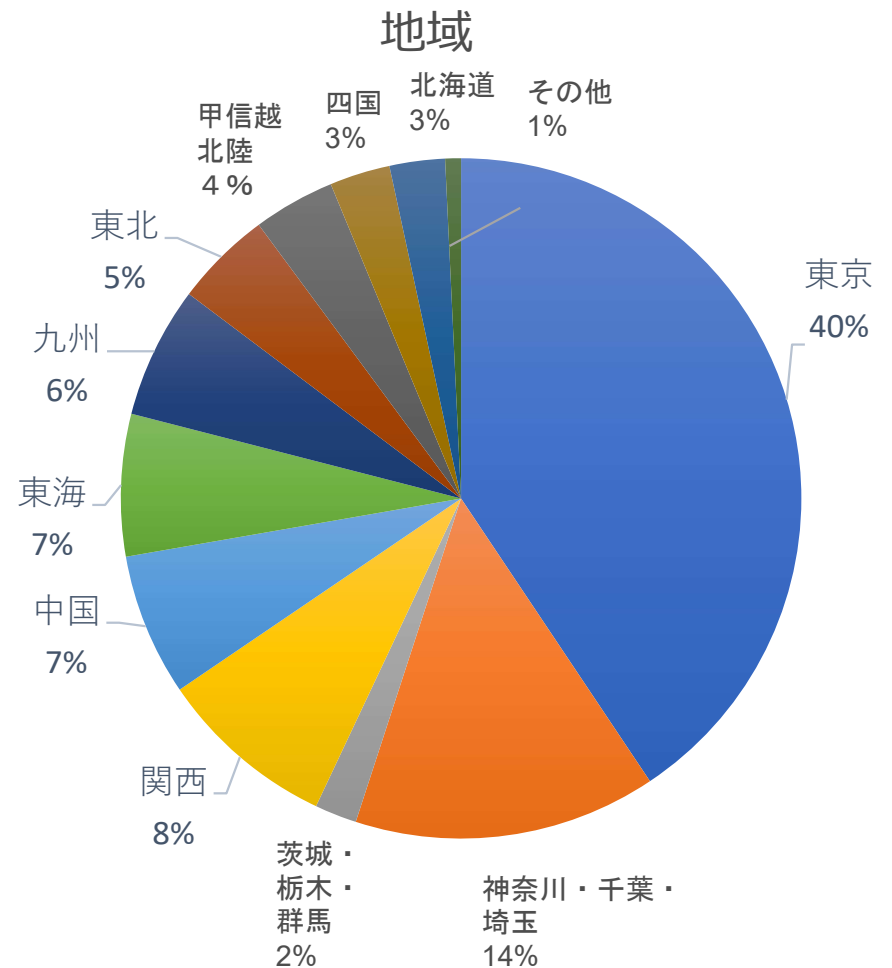
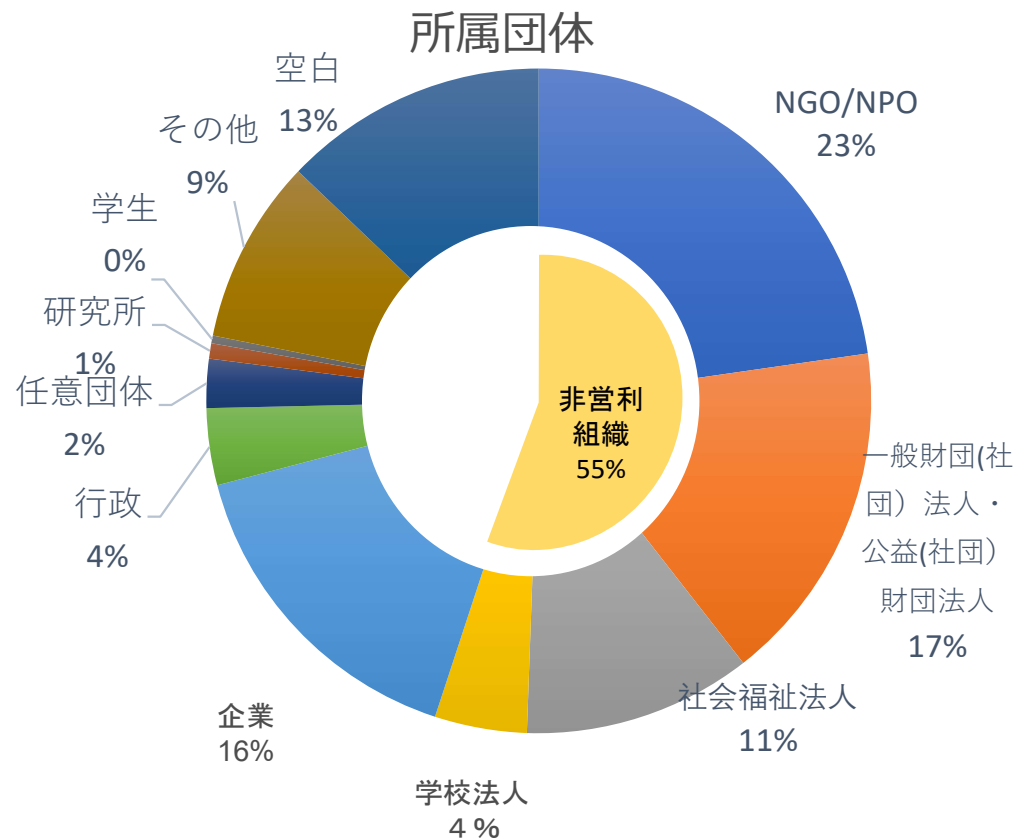
ファンドレイジング・日本 参加人数の推移

過去最大の参加者数
10年で4倍の規模に成長



PRJ2019実績（参加者属性・地域）

非営利組織からの参加者55%・全国から参加



FRJ2019実績（後援・協賛社）

後援 内閣府、外務省、世田谷区、在日米国商工会議所、認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク、特定非営利活動法人NPO事業サポートセンター、社会福祉法人大阪ボランティア協会、公益社団法人企業メセナ協議会、公益財団法人公益法人協会、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター（JANIC）、独立行政法人国際協力機構JICA、特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会、公益財団法人助成財団センター、東京ボランティア市民活動センター、認定NPO法人日本NPOセンター、公益社団法人日本フィランソロピー協会、特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会、日本NPO学会

スペシャルパートナー

チームGOEN
株式会社ジャックアンドビーンズ
一般社団法人ソーシャルジャパン

株式会社トラストバンク
株式会社ファンドレックス
株式会社Good Morning

協賛パートナー

公益財団法人ベネッセこども基金
gooddo株式会社
ワークスモバイルジャパン株式会社
一般財団法人非営利組織評価センター

リネットジャパングループ株式会社
actcoin
英治出版
NPOサポートセンター
CANPANセンター
佐賀県
日本政策金融公庫

NPOアマポ-ラオーソ
NPO会計力検定協会
全国レガシーギフト協会

リタワークス株式会社
お宝エイド
クリエイターズネクスト
READYFOR株式会社

リサイクル募金きしゃぽん
（運営：嵯峨野株式会社）
ジービーパートナーズ
Syncable / Brand Pledge
株式会社ソノリテ
ソリマチ株式会社
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
activo

ソフトバンク株式会社
株式会社バリューブックス
シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

全**34**社（うちブース出展数24）

日本ファンドレイジング協会

日本ファンドレイジング協会は、2009年に日本全国47都道府県から580人の発起人の賛同を受け、寄付・社会的投資が進む社会の実現を目指して設立されました。民間非営利組織のファンドレイジング（資金集め）に関わる人々と、寄付など社会貢献に関心のある人々のためのNPOとして、認定ファンドレイザー資格制度やファンドレイジング・日本、子ども向けの社会貢献教育、遺贈寄付の推進、寄付白書の発行などに取り組んでいます。

2010年2月にNPO法人を認証取得、2016年12月に認定NPO法人として認定

組織概要

設立	2009年2月18日
代表理事	鵜尾 雅隆
住所	〒105-0004 東京都港区新橋5-7-12 ひのき屋ビル7F
連絡先	TEL : 03-6809-2590 / Fax : 03-6809-2591
ビジョン	「民から民への資金」10兆円時代の実現へ
スタッフ数	10名（非常勤スタッフ含む）
会員	1,822個人・法人（2019年3月31日現在） 運営会員65名 賛同会員（個人）1,688名 賛同会員（企業・団体）69法人
ファンドレイザー	1,160名（2019年3月31日現在） 認定ファンドレイザー130名 准認定ファンドレイザー1,030名
チャプター	全国7地域拠点（北海道、東北、静岡、東海、関西、中国、九州）および4テーマ（アート、福祉、大学、国際）におけるファンドレイザー組織ネットワーク



FRJ後援担当：
大石・小川（知子） frj@jfra.jp

令和2年7月8日

事業名: ファンドレイジング・日本2020

申請団体名: 認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

代表者: 代表理事 鶴尾雅隆

本件事業については、以下のとおり収支を計画しております。

※金額表示単位: 円

収入の部

(計上予算、寄付、入場料、助成金等についてご記入ください。)

項目	予算額	積算内訳	内訳金額	備考
参加費	13,750,000	会員(早期割引10,000円×600人)	6,000,000	
		一般(早期割引15,000円×250人)	3,750,000	
		会員(14,000円×150人)	2,100,000	
		一般(19,000円×100人)	1,900,000	
		講師、招待者など無料の参加者(0円×500人)	0	
協賛金	7,000,000	ブース展示企業などからの協賛	7,000,000	
合計	20,750,000			

支出の部

(会場費、人件費、移動費、その他必要諸経費についてご記入ください。)

項目	予算額	積算内訳	内訳金額	備考
人件費	6,000,000	当該事業の人件費		
広告宣伝費	800,000	媒体費(オンライン広告、HP制作、他団体情報誌掲載料など)		
業務委託費	11,000,000	イベント設営、運営、通訳、申込システムなど		
会議費	2,000,000	スタジオ使用料など	1,500,000	
		消耗品、付属設備レンタル費など	500,000	
諸謝金	200,000	講師への謝金		
通信運搬費	500,000	機材搬送等		
雑費	200,000			
合計	20,700,000			

収支差額: 50,000

※収益が生じた場合は、次回開催する大会の運営費に使用します。

※不足金が生じた場合は当会にて負担します。